

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 1 月 20 日作成)

小委員会名	基礎構造系振動小委員会	
主査名	宮本裕司	
就任年月	2005 年 4 月	
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 振動運営委員会	委員長名：和田 章 主査名：三浦賢治
設置期間	2005 年 4 月 ～ 2009 年 3 月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初年度は刊行物の内容審議、執筆と講習会の開催、小委員会活動方針の審議 ・ 2 年度は非線形相互作用と建物応答、設計への組み込みをテーマとしたシンポジウムを開催 (2006.12 に開催) ・ 3 年度は非線形相互作用を考慮した設計法についての検討作業。 ・ 4 年度は小委員会、WG でワークショップを開催し、「非線形相互作用を考慮した建物応答と耐震設計法」について活動成果を報告。 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：宮本裕司 (大阪大学) 幹事：飯場正紀 (建築研究所)、栗本 修 (大林組) 委員：新井 洋 (防災科学技術研究所)、古山田耕司 (鹿島建設)、白瀬陽一 (日建設計)、 田村修次 (京都大学)、田守伸一郎 (信州大学)、中井正一 (千葉大学)、林 康裕 (京都大学)、福和伸夫 (名古屋大学)、土方勝一郎 (東京電力)、船原英樹 (大成建設)、護 雅史 (名古屋大学)、吉澤睦博 (竹中工務店)	
設置 WG (WG 名：目的)	非線形相互作用を考慮した応答評価 WG： 建物応答に影響を与える非線形問題について、現状調査と課題の整理、および設計への組み込み方等について検討することを目的とする。	
2008 年度予算	460,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)、WG 3 回
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. ワークショップ「非線形相互作用と耐震設計 ―最近観測される強震記録と建物被害の関係を考える―」(2008.10.30 開催) 参加者数 59 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 小委員会と WG では、今期開催したワークショップの内容と WG メンバーの共同テーマである「K-net 柏崎での強震記録を用いた建物解析と被害分析」について、大地震時の非線形相互作用と建物応答の観点から審議した。 2. ワークショップでは、各メンバーからの研究報告をもとに会場と議論を行った。比較的少人数の会であったため、内容の濃い活発な意見交換を行うことができ、所期の目的を達成できた。
委員会活動の問題点・課題	1. ワークショップでは「大加速度記録と建物被害小」の解明をテーマに非線形相互作用に関して、現状の知見と今後の課題を明らかにできた。ただ、耐震設計への反映については時間不足で、十分な検討、審議ができたとは言えない。新しい小委員会の活動で検討を進められればと考えている。